

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団
 所在地 〒135-0042
 東京都江東区木場
 3丁目18番地10号
 深川消防団本部
 TEL:03-3642-0119
 FAX:03-3641-4422



東京マラソン2017

消防特別警戒実施



平成29年2月26日(日)晴天の中、東京マラソン2017が開催され、約3万6000人のランナーが都内を快走しました。(ランナーには少し暑かったかもしれませんが)

今回からマラソンコースが変更になり、深川消防団が管轄する区域では清澄通りから永代通りへ左折し、富岡八幡宮前を折り返しとしたコースとなりました。

深川消防団は、深川消防署と連携し、東京マラソンに伴う消防特別警戒を実施しました。消防特別警戒の現地警戒本部として、永代通りは富岡一丁目、清澄通りは深川一丁目、清澄公園及び第3分団本部の合計4箇所に設置しました。警戒は、小安団長以下団本部、第3分団、第4分団、第5分団及び第6分団が実施しました。警戒中は、沿道や道路上での傷病者等が発生しないように、また、発生時には早期に対応できる体制を確保し、警戒を実施しました。

朝早くからマラソン大会関係者及び多くのボランティアの方々が大会の成功を祈りつつ準備に汗をかき、大会のスタートに合わせて多くの地域住民の皆様が応援に駆け付けました。また、富岡八幡宮神輿総代会の皆様が応援神輿で選手を激励しました。

万全の体制で警戒を実施した結果、大きな事故もなく大会を終えることができました。(第六分団 高野 俊勝)

深川消防署 新署長挨拶

(平成29年4月1日)



署長
消防監
鈴木 孝治

はじめまして。この度、四月一日付で千住消防署より、深川消防署に赴任いたしました署長の鈴木でございます。前任の小黒署長同様どうぞよろしくお願い申し上げます。

消防団の皆様は、平素、生業を営みながらも、ひとたび火災や災害等が発生するや、消防隊と連携し災害活動に取り組み、各種警戒や日々の訓練など、地域の防火防災に多大なる貢献をいただいております。まずは、この場をお借りして、心から敬意を表しますとともに、感謝を申し上げます。

さて、深川消防署は、明治十四年発足の歴史と伝統ある消防署です。管内も、富岡八幡宮をはじめ、深川不動堂等、多くの神社仏閣が点在し、美しい清澄庭園や深川江戸資料館など様々な歴史と伝統に触れることができます。この素晴らしい深川と、地域の方々の安全・安心のため、消防団の皆様と手を携えて務めて参りたいと存じますので、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経歴

昭和58年 東京消防庁に入庁、昭和58年8月 荏原消防署に拝命、その後、新宿消防署、世田谷消防署、第八消防方面本部、救急部救急管理課、警防部多摩指令室・警防部総合指令室、多摩消防署、警防部総合指令室、田園調布消防署、警防部総合指令室、千住消防署を経て、本年四月に深川消防署長に就任。

深川消防署 新課長挨拶

(平成29年4月1日)



地域防災担当課長
消防司令長
山根 朋公

この度、地域防災担当課長に就任しました山根と申します。『地域防災担当課長』は、首都直下地震等に対応するため「自助・共助」の一層の強化を目的に、『地域』の皆様や江東区をはじめとする関係機関との連携の要となるべく設置された新しいポストになります。『地域』に根差した活動をされている深川消防団の皆様のご指導、ご協力を賜り、微力ながら尽力したいと考えております。さて、私事ですが深川消防署勤務は二度目となります。前回は平成十三年四月から一年四か月の間、火災調査等の業務を担当しました。東京二〇二〇

大会の開催を三年後に控え、東京でもダイナミックな変化の只中にある一方、富岡八幡宮例大祭をはじめとする歴史と伝統を今に誇る『地域』で再び勤務できる喜びを胸一杯に感じています。最後になりますが、重ねて深川消防団の皆様のご指導、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

平成六年六月 東京消防庁入庁、翌年一月日本堤消防署拝命、その後、荏原、深川、全国消防長会派遣、広報課、赤坂、東京防災救急協会

派遣、大井、総務課を経て、本年四月に深川消防署地域防災担当課長に就任。

新しい分団長の紹介



第2分団
分団長
菊地 常美

平成29年4月1日付で小安団長より辞令を頂きました。使命感で一杯です。私達の地域は小名木川と横十間川に囲まれた深川八ヶ町で住宅地と商業地です。災害や火災等に消防団として行動できるように訓練を重ね、地域の防災リーダーになり活動を致します。我が2分団は心を通じて精進し新入団員を育てて参ります。



第5分団
分団長
植原 信義

このたび金山分団長の退任に伴い、後任として私、植原信義が第5分団分団長に就任させて頂きました。

私が町は我が手で守ろう消防団を基として、これからも地域の防火防災に全力を尽くしてゆく所存です。

今後とも今まで同様、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



第7分団
分団長
木本 昌次

四月一日付で勝山前分団長の後を継ぎ、第7分団長に任命されました木本です。

伝統ある深川消防団の分団長の中でも最年少かつサラリーマン分団長ですので第7分団員の支援や深川消防署・深川消防団本部・各町会自治会様のご指導の元地元地域の防火・防災に尽力していく所存でございます。

若輩者ではございますが、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

大江戸線(清澄白河駅)で救助訓練
4分団員が担架搬送

平成29年2月20日(月)

大江戸線清澄白河駅で乗客が線路上に転落した、という想定で訓練が行われました。転落した要救助者を、消防隊が線路上で担架に収容、ホーム上で待機している団員に引き継ぎ、中澤分団長の指揮で改札階まで搬送し救出完了。駅員及び消防隊と連携した訓練を実施しました。
(第4分団 正本 光生)



深川八中で防災講演会

平成29年3月25日(土)

深川第八中学校で防災講演会が行われました。

講師には、防災士常務理事橋本茂先生をお呼びして、「自主防災組織の役割について」講演を行っていただきました。

私達消防団も、地域内を巡り常日頃から防災に対する備えや、防災訓練など自助・共助の取り組みについて意識を高めていく活動をしています。

しかし、「まさか!」の想定については本人の意識によるものである為、継続させていく事は難しいものとなります。

講演では、日本国内で実際にあった災害の事例から浮き彫りになった問題や、水害、震災について学びました。

2時間弱おこなわれた講演最後には、「助けられる側から助ける側へ!消防団、自主防災組織への積極的参加」も呼びかけられ、改めて、地域、学校、消防団と連携した共助の大切さを学ぶ事ができました。

後日、講演会に参加していた、深川第八中学校三年河崎さんから感想をお聞きました。

『今まで学校やメディアなどを通じて、災害について知り、備えてきたつもりでしたが、講演を聞いて準備』



が全く足りないことを知りました。様々な状況に対応できる備えが必要だと改めて感じました。これからの備えについて、家族でも一度相談していただきたいです。』

講演会をご準備してくださいました、深川第八中学校避難所運営協力本部、枝川・塩浜・潮見連合16町会・深川第八中学校生徒の皆様有難うございました。
(第9分団 岩淵 初美)

解体建物での破壊訓練

平成29年3月16日(木)

WOW放送センター(江東区辰巳)において、消防署指導のもと破壊訓練を実施しました。訓練は、閉じ込められた人を救助するという想定で、壁に穴を開けましたが、壁の材質を考

慮しての機材選びや指揮者の重要性、仲間の体力を加味にした連携、騒音の中での伝達の仕方など実際の災害現場に必要なことなどを体験しました。解体現場での訓練は滅多に出来ることではありませんが、仕事を調整しても参加する価値のある経験だと感じました!
(第7分団 藤田 享子)



深川消防団

第39回

消

第1分団



4月より毎週2回のペースで、夜2時間ほど操法大会の訓練を重ねています。1番員以外は昨年と同じメンバーなので、ある程度流れはできています。後は規律の精度を上げながら、どこまでタイムを縮められるかというところ。昨年は基本操法までタイムが良くなく、順位も振るわなかったのが、タイムに拘ったタイムが良くなく、順位も振るわなかったのが、タイムに拘って訓練をしています。どこまでタイムを縮め、何位に食い込めるか、「意志」を持って大会直前まで訓練を続けるつもりです。

第2分団



水よ来てくれ!
水さえ来れば優勝も現実だ!

第3分団



第3分団は様々な団員が様々な番手を担当できるように訓練しています。いざ本番に向けてオールマイティな団員を育成中です。
「銅と銀は持っているので、金メダルにこだわります! みんなで優勝するぞ!(1番員 野津公太郎 団員)」
「操法大会連続出場11回目にして初の2番員! これで1~4番員コンプリート! レジェンド目指して頑張ります!!(2番員 大野竜弘 班長)」
「操法大会に向けて、第3分団一致団結して日々訓練しています。その中で選手として全力を出し切れるようにベストを尽くします!(3番員 中島沙江子 班長)」
「選手最後なので、悔いの残らないように頑張ります!(4番員 小野至 部長)」

平成29年度 出場選手

	指揮者	1番員	2番員	3番員	4番員	昨年順位
第1分団	榊原 弘行	三澤 俊徳	中村 哲也	宮島 慎一	小野 高彰	9位
第2分団	齋藤 真二	藤山 正行	海老名 和也	宇田川 敬司	田坂 成淑	10位
第3分団	阿部 光城	野津 公太郎	大野 竜弘	中島 沙江子	小野 至	3位
第4分団	岩木 昇	木村 真人	稲 久夫	小西 英夫	笠嶋 大介	準優勝
第5分団	高橋 佳久	海老沢 貴文	圓城寺 正和	梅内 美園	石崎 智紀	優勝
第6分団	大熊 大介	中津 吉夫	岡部 健二郎	形屋 敬介	竜崎 誠	8位
第7分団	木本 昌次	樋口 博之	巽 紳太郎	藤田 享子	山本 憲一	4位
第8分団	堀川 昌裕	伊澤 宏之	伊藤 雅俊	鈴木 馨	松城 康夫	6位
第9分団	森田 嘉智	大矢根 匠	鷓野 博	岩淵 初美	木下 真吾	7位
第10分団	前田 康宏	柏木 和也	野口 盛一	宮崎 弘	柏原 幸一	5位

東京防災学習セミナー 開催される

平成29年3月11日(土)

東陽区民館4階ホールに於いて、東陽五丁目東町会および東京都総務局総合防災部の主催により開催されました。夕方6時から東陽地区をはじめ150名を超える多くの住民の方々が集まりました。当日は一昨年東京都から配布になった「東京防災」の冊子を持参し、その内容に沿った講演を講師の方から伺い、みな熱心に内容を聞いたりディスカッションを行ったりされていました。「東京防災」は配付になった当時



からその内容に評判が集まり、他県からの購入希望者も多くあったと聞いています。このような機会にもう一度読み直してみても大切かと思えます。
(第8分団 庄井 勤)

「ファイヤープラザイン ふかがわ」開催される

平成29年3月4日(土)

春の火災予防週間の時期に木場イトーヨカドーおよび深川ギャザリアに於いて行われている、大規模な行事で



す。消防関係車両や機材の展示説明、防災・救命訓練、子供たちへのロープ渡過や放水体験の訓練も行われます。立ち寄った買い物客やこの日を

家族連れの方々が多く参加してくれました。午後にははしご車やレスキューも参加する消防演習も行われました。このような機会に子供たちや一般人に消防や消防団に興味を持ってもらえたらうれしいです。
(第8分団 庄井 勤)

深川消防団「体力練成会」 カローリング大会

平成29年2月5日(日)

今年の体力練成会は南陽小学校講堂に於いてカローリング大会が行われました。カローリングとは冬季オリ



ピック種目でもあるカローリングに三つの車輪を付けて、より手軽にできるようにした日本発祥のスポーツです。各分団・本団・消防署チームに分かれて老若男女入り混じってのスポーツ大会になりました。
優勝は、消防署チーム(二連覇)。
(第8分団 庄井 勤)

新入団員・女性団員教養

平成29年3月12日(日)

深川消防署において深川消防団女性団員及び新入団員教育訓練が実施されました。訓練項目は大会議室での「一般教養」から始まり、消防団の使命や団員としての心得、災害活動の原則等を学びました。また消防団の成り立ちが江戸時代の町火消から始まったと教えられ、歴史ある組織の一員として一層身の引き締まる思いがしました。

一般教養の後は3班に別れ、それぞれ「礼式」、「都民指導要領」、「活動訓練」について順番に指導を受けました。礼式では「かしら中」で始まる敬礼の基本動作、「気をつけ」や「休め」の姿勢、「右向け右」などの足運びを含めた停止間の基本動作、「前に進め、止まれ」や「かけ足進め、止まれ」等の行進間の基本動作、「集まれ」や「右にならえ」等の小隊操練を学び

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

http://www.teisoh.co.jp/ E-mail:info@teisoh.co.jp
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 テイソウ
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所



株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤 庄一

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141(代表)
http://www.mutoh-u.co.jp/
支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま
栃木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台



ました。学生時代に体育の授業で集団行動を習った経験はありましたが、敬礼を学んだのは今回が初めてで、団員としての誇りと消防団の一体感を感じることができました。

都民指導要領では、模擬消火器及びスタンドパイプの取り扱い方の訓練を通じて、町会など各自治会で行われる避難訓練時に都民を指導する側の心得を教わりました。地域の防災リーダーである消防団員の職務を全うするためには、積極的に教育訓練を受ける必要があるという指導員の言葉が心に強く響きました。

活動訓練では防火衣装着、ホース取扱い、放水要領について訓練を受けました。防火衣を着ると、予想以上に「しころ」によって視野が狭くなり、また周囲の音が聴こえにくくなりました。また放水中はホースは重く、水圧も非常に高いため、誤った操作をすれば怪我に直結すると感じました。怪我をしないためには、これからも常に緊張感を持って訓練に望むことが重要だと教えられました。今回の訓練を通じて学んだ事を礎と

し、一刻でも早く、一人前の消防団員になるべく日々の訓練に精進して行きたいと思います。(第7分団 上田 尚学)

文化財防火デーにとまなう 消防演習

深川神明宮

1月23日(月)に深川神明宮で行われた文化財防火デーの消防演習に機関員として参加いたしました。

消防署員の方と連携し、分団の積載車を基本に境内にある防火用水を水利とし、社殿の屋根に放水しました。

機関員として、筒先を構えている仲間にも恥をかかずわけにはいきません。

幸い、全ての連携も取れ、万全な放水ができたと思います。神明幼稚園の園児や保護者の方々、近所の保育園の方々なども見学に來られ、みなさんの目の前で演習は緊張すると同時に、子供たちのヒーローを見るような視線は消防団員として誇りを感じる瞬間でした。(第3分団 中山 勝透)



富岡八幡宮

去る1月26日の文化財団防火デーに伴い富岡八幡宮にて1月24日(火)に消防演習が行われました。



訓練は午前10時に富岡八幡宮より出火し延焼したとの想定で始まり神職により文化財を搬出し119番通報と同時に消火器による初期消火した後、消防署

第5分団、第6分団及び地元富岡一丁目町会の災害協力隊、災害支援ボランティアと共に本堂に向けて一斉放水を行いました。訓練を見学に訪れていた地元の保育園児と一般見学者からは歓声があがりました。第6分団区域内には成田山深川別院富岡八幡宮永代寺が有りこれは江東区内では特に有名な神社仏閣なので分団としてもいざという時に備え町内の安心安全の為に訓練に励みたいと思います。(第6分団 平山 敏博)



消防団員募集パレード

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。



ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
03-5683-5683 (代表)
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか 分からない」

弊社の社員も消防団員として活動しています。



丸八倉庫株式会社
江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4階

第31回 消防団意見発表会

2月12日(日) 東京消防庁消防学校 5階講堂において、第31回 消防団意見発表会が開催されました。東京の各方面支部代表12支部が一同に集まり、第7方面支部代表として深川消防団第10分団前田康宏部長が発表を行いました。

テーマ『消防団 それは絆そして我が人生』と掲げ懇親あふれる堂々とした姿で述べ、前田部長の消防団にたいする熱い思いが会場全体を引き込みました。

今回の意見発表会の感想を後日前田部長にお聞きしました。

始式で私の深川消防団とのご縁と



いをお伝えさせていただきます。発表にあたり、「原稿を全部憶えること！制限時間5分を超えない！メリハリをつける！」等のプレッシャーの中で、夜遅い時間まで署長、事務局の皆様、団長以下幹部の皆様、何度でも特訓

して頂き、とても良い内容になりました。当日は署長、団幹部の皆様、第10分団員、また、岩淵団員に応援にきて頂きました。結果は【特別優良賞！】とてもよい経験になったと思います。皆様には大変お世話になりました。恩返しするべく消防団活動に邁進してまいります。引き続き、何卒宜しくお願ひ申し上げます！

前田部長おめでとうございます!! (第9分団 岩淵 初美)

深川消防団退団者

第2分団	分団長	浅野 静雄
第5分団	分団長	金山 建治
第7分団	分団長	勝山 瑳登志
第1分団	副分団長	大木 清三
第2分団	副分団長	重田 富雄
第3分団	副分団長	山口 雅司
第6分団	副分団長	渡邊 忠徳
第2分団	部 長	寺腰 仁
第3分団	部 長	小幡 毅
第3分団	部 長	柳生 泰一
第7分団	班 長	村杉 和子
第4分団	班 長	村上 まち子
第6分団	班 長	金子 純久
第6分団	班 長	斉藤 ユリ
第6分団	班 長	井熊 毅
第10分団	班 長	波多野 紗織

表彰者の紹介

- ◆叙 勲 (瑞宝單光章)
 - 第7分団 元分団長 内藤 健一郎
- ◆消防庁長官表彰 (永年勤続功労章)
 - 第7分団 前分団長 勝山 瑳登志
- ◆日本消防協会表彰 (精績章)
 - 第10分団 副分団長 田島 ヒロ子
- ◆日本消防協会表彰 (勤続章)
 - 第1分団 前副分団長 大木 清三

消防署の指導者紹介

- 警 防 課**
- 石井 課長
 - 毎日勤務
 - 小坂 防災安全係長
 - 奥村 消防団担当主任
 - 鈴木 非常勤
 - 一部 (資器材・施設担当)
 - 内田 主任
 - 古谷 副主任
 - 二部 (費用弁償担当)
 - 杉本 主任
 - 川田 副主任
 - 大友 係員
 - 三部 (訓練担当)
 - 坂西 主任
 - 吉長 係員

さきもり編集委員

分団名	任 務 職 名 氏 名
団本部	監 修 團 長 小安 勤
団本部	編集委員長 副団長 椎名 貞雄
団本部	編集責任者 分団長 渡邊 美憲
第1分団	委 員 班 長 宮島 慎一
第2分団	委 員 班 長 平林 忠之
第3分団	委 員 班 長 中島沙江子
第4分団	委 員 班 長 正本 光生
第5分団	委 員 班 長 海老沢貴文
第6分団	委 員 班 長 高野 俊勝
第7分団	委 員 班 長 藤田 享子
第8分団	委 員 副分団長 庄井 勤
第9分団	委 員 團 員 岩淵 初美
第10分団	委 員 部 長 榎山美恵子

編集後記

本年度初めての「さきもり」をお届けします。消防団員や町会の皆さんに、消防団の活動を広くお伝えすることはもとより、少しでも皆さんのお役にたつような記事を掲載していきたいと思っています。こんな記事を書いて欲しい、これを連載したら役立ちそう、あの人がインタビューしたらどうか等々、アイデアがありましたら各分団の編集委員にお声掛けをお願いします。

本年度は、これまでとは一味違った「さきもり」を目指していきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。(第1分団・宮島編集員)